

## 令和5年度都立井草高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	思考力の伸長 言語感覚を磨く 読解力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週一回の小テスト、評論や小説頻出用語の学習を促す。</li> <li>・評論文について分掌構成や論理展開に留意させ、文章を要約する練習を重ねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試に生かすことのできる読解力と言語力の養成に努める。</li> <li>・情景描写から心情を汲み取ることのできる力を育成する。</li> </ul>
社会	「主体的に学習に取り組む態度」を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期ごとに探究型のレポート課題を課す。</li> <li>・授業内で毎時の目標を達成するために、まとめ部分を自ら表現させ、意見交換を行い、学級全体で発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元目標を達成するために、毎時のまとめを総合して単元のまとめ部分を自ら表現させ、意見交換を行い、学級全体で発表する。</li> </ul>
数学	「主体的に学習に取り組む態度」を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対する評価基準を統一するための教科会を開き、生徒の意欲的な取り組みを評価する体制を整える。</li> <li>・生徒の反応のよかった授業内容・取り組みについて教科内で共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身に試験後の振り返りと次回への取り組みをレポートの形でまとめさせ、自ら課題設定を文章化させる。</li> </ul>
理科	新カリキュラム2年目の授業実践の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な取り組みが促される授業実践を科内で共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新カリキュラムに応じて変化する大学入試にも対応できる授業を構築する。</li> </ul>
保健体育	運動量の確保 技術の習得 健康について、自ら考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、補強運動に取り組む。</li> <li>・自分で種目を選択し、より専門性の高い技術を習得する。</li> <li>・教科書を通して、健康について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から再開する水泳や3学期の持久走で、基礎体力をつける。</li> <li>・グループワークなど、生徒同士で考えて技術や戦術を発展していく。</li> <li>・調べ学習を通して、健康について考えを広げる。</li> </ul>
芸術	豊かな感性の育成と基礎的な技能を身につけさせる指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な知識や技能を理解したうえで身につけられるようにする。</li> <li>・芸術3科それぞれの授業内容や評価について情報共有の機会を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表や講評の機会を設け、自らの取り組みを振り返り、評価・改善しようとする態度を育成するための授業方法の考案および実施する。</li> </ul>
家庭	主体的に家庭や地域の生活の充実向上を図る実践的な態度を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート等の学習、実習をととして基礎的な知識や実践的な力を身につける。</li> <li>・身近な題材を取り入れ、家庭や地域の生活に関する関心を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活についての課題を見いだし、その解決方法を考える機会を設ける。</li> </ul>
英語	4技能の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4技能の基盤になる基礎的な学習事項の習熟を支援する。</li> <li>・科目を横断して聞く読む話す書くの4技能5領域の指導を行う。</li> <li>・4技能の伸長を図る外部検定受験を奨励する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英検の校内実施と外部4技能検定試験の受験を奨励する。</li> <li>・オーストラリア国際交流プログラムを有効活用する。</li> <li>・TGGプログラムの参加を支援する。</li> <li>・オンライン英会話事業の支援を行う。</li> <li>・ALT、JETとのTT活用を進める。</li> </ul>
情報	「課題解決」につなげる実習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なコンピュータの仕組み、情報リテラシーを養う教材の開発を行う。</li> <li>・実社会に即座に役立つ知識を重点的に学習し、課題解決能力を身につける授業の実施を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション資料作成で、グループ(協働学習)による探究的な実習を実施する。</li> <li>・プログラミングや検定試験の勉強をすることでより実践的かつ問題解決能力を身につける授業を実施する。</li> </ul>